おかなみ

広報誌
第43号

社会医療法人 畿内会 岡波総合病院
平成29年7月発行

老健おかなみから

介護老人保健施設 おかなみ 施設長　中川　洵

感謝と決意 ～畿内会に入職して～

副看護部長　松島 由実

平成29年度 新入職員紹介

当院に「排尿ケアチーム」が発足しました

老健おかなみから

介護老人保健施設 おかなみ 施設長　中川　洵

こんにちは、老健おかなみの中川です。昨年の１０月から、副院長と麻酔科を離れてこちらの仕事をしています。半年以上経ってしまいましたが、ここまでの私の感想と感動を報告したいと思います。

老健とは介護老人保健施設の略称です。医療的には落ち着いていて介護を要する人が、自立もしくは家庭生活に復帰することを目的として利用する施設、といえるでしょう。法律ができたのが平成９年、まだまだ発展途上の制度ですがこれからの高齢化社会を支える制度の一つとして皆で育てていく必要があると思っています。畿内会グループではそれぞれに特徴を持たせた老健施設３か所を運営しています。私が仕事している老健おかなみはそのうちの一つです。

病院では病気が治って退院、「おめでとうございます」でした。もちろんほとんどがそうなのですが、1か月の入院だったのに寝ていたので体力が衰えてしまったとか、退院後の年寄り夫婦だけでの生活、あるいは一人暮らしでの生活をどうしようかなど、患者さん本人や家族だけでは解決できない問題を抱える場合もたくさんあります。また、おじいさんが腰を痛めて動きが不自由になった。家族は仕事や学校で出かけてしまって昼間は一人になるのが心配、などということもあります。そんな時こそ老健です。一人で考えて解決できなければみんなで考えましょう。

老健おかなみでは入所の方１００人、通所３０人のお世話をしています。スタッフは医師２名、看護師１７名、介護職員４０名、リハビリ８名、栄養･食事１１名、支援相談員３名、ケアマネージャー２名、事務職５名です。送迎、掃除などは応援を頼んでいます。介護職員は４０名と一番の大所帯です。それでも１３０人のお世話をするにはもっといて欲しいです。でもそれを言ったらどの部門もそうですね、ぎりぎりで動いています。

老健にきてびっくりしたのは、朝から夕方まで部門ごととか、２部門連携とか、全体でとか、しょっちゅう打ち合わせをやっていることでした。みんな利用者のお世話で走り回っていると思っていましたが、それプラスです。衝撃でした。忙しいのになぜでしょう？

入所の場合は最初にご本人やご家族の希望を聞かせてもらいます。そして「せめて食事は自分で」「トイレは」とかの目標を決めます。次は病状、体力、認知度、飲み込み機能は？など各部門での情報を集めて実施計画を立てます。後は各部門一致して計画遂行です。そして３週間ほど経ったところで、計画に無理は無かったか？もっと出来るのではないか？などと皆で検討して計画の見直しをし、次はそれを実行です。そして退所が近くなれば家の構造確認、地域の介護支援専門員や在宅介護サービスとの打ち合わせがあります。

すごいでしょう！なんか強化合宿のスケジュールを実施しているみたいです。とにかくたくさんの人との話し合いがなければ成り立たないのです。

最後に、スタッフ全員がその人にとって一番快適な生活は？と考えています。そしてみんな明るくて優しいですよ！！

● 岡波総合病院の理念 ●

人々の健康と幸せのために、『人間としての愛』の精神をもって心からの医療と福祉を提供していきます。

● 岡波総合病院の基本方針 ●

1．私達は、「至誠・注意・満足」の院是の基に、患者様と信頼を共有できるように心の通じた医療サービスを実践いたします。
1．私達は、医療水準の日々向上をめざし、高度適正な医療を実践いたします。
1．私達は、患者様に心温まる細心の看護と介護の提供を実践いたします。
1．私達は、地域の医療福祉機関との連携を密接にとり、患者様すべてに公正な医療の提供とプライバシー保護を実践いたします。

● 患者様の権利 ●

1．患者様は、だれでも良質な医療を公平に受けることができます。
1．患者様は、病気・検査・治療などについて理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報をうけることができます。
1．患者様は、十分な説明と情報提供を基に治療方法などを自らの意思で選択することができます。また別の医師の意見を求めることもできます。
1．患者様は、自分の診療記録の開示を所定の手続きを経て求めることができます。
1．患者様は、個人の情報やプライバシーについて保護されます。
1．患者様は、健全で良質な医療水準を確保するため医療サービスについて提言することができます。

感謝と決意～畿内会に入職して～

副看護部長 松島 由実
感染管理認定看護師 認定看護管理者

高齢少子化時代を迎えているわが国において、地域医療構想や地域包括ケアシステムの構築など、医療福祉施設の役割はますます大きくなっております。伊賀地域で急性期医療から療養まで幅広く支えることを目指している当院(畿内会)に入職して9か月が経ちました。

私自身の新たな冒険、医療や介護を支える看護の探求、そしてご縁をいただいたことがきっかけです。職場環境が変化するのは大変ですが、職員の方々がとても温かく迎えてくださり、また岡波総合病院をはじめとして畿内会の関連施設をご利用される住民の皆さんが気持ちよく挨拶を交わしてくださいます。その「おもてなしの心」によって、毎日元気で仕事に励むことができていることに深く感謝しております。

病院や老人保健施設が、「またお越しください」とお声がけするのは心苦しくもありますが、「困った時には頼りにしてください」、そんなおもてなしの心を持って、その人の尊厳や生活を含めて支える、多職種・他施設・地域とつながる、そのような看護を提供していきたいと考えます。

また、日本看護協会が認定している資格制度において、私は感染管理認定看護師(＊1)と認定看護管理者(＊2)の資格を取得しました。経験と専門家としての知識や技術を生かし、感染管理(感染対策)もできる看護管理者として、成長するよう努力を重ねていくことを改めて決意します。
どうぞ末永くよろしくお願い申し上げます。

(＊1) 感染管理認定看護師

感染管理認定看護師:感染管理に関する知識と多職種と協働できる能力を持ち、患者(利用者)・家族、現場で働くすべての人を感染源から守る看護分野の専門家。

(＊2) 認定看護管理者

認定看護管理者:多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い看護サービスを目指し、看護管理者の資質と看護の向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献する管理者。

医師紹介

平成29年4月1日採用

内 科
池之山(いけのやま) 洋平(ようへい) 医師

今年度よりお世話になります。消化器を中心として内科全般の診療を行います。よろしくお願いします。

新任医師

泌尿器科
大塚(おおつか)憲司(けんじ)医師
平成29年7月1日付

脳神経外科
田中(たなか)祥貴(よしき)医師
平成29年7月1日付

退職医師

泌尿器科
初鹿野俊輔 医師
平成29年6月30日付

小児科
大槻　静 医師
平成29年6月30日付

新入職員紹介

今期の新入職員をご紹介いたします。
みなさま、どうぞよろしくお願いいたします！

検査部
林 夢矢（はやし ゆめや）
検査技師

臨床検査技師として入社させて頂いております。体格は大きいですが、正確かつ迅速な検査を行える様に誠意を芯に努力させて頂きます。

CE部
北村 明子（きたむら あきこ）
臨床工学技士

臨床工学技士として現在透析業務をしています。みなさんのカになれるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします！

リハビリテーション科
杉野 貴俊（すぎの たかとし）
理学療法士

病院だけでなく、介護老人保健施設でも経験を積み、地域医療に貢献していきたいです。

リハビリテーション科
中平 智之（なかひら ともゆき）
理学療法士

私は、高校時代硬式野球部に所属し、自分の甘い気持ちに負けず決して諦めない気持を身につけてきました。それらを活かして様々な分野で活躍できる理学療法士を目指したいと思います。

リハビリテーション科
山本 咲枝里（やまもと さえり）
理学療法士

少しでも早く一人前として働くことができるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

リハビリテーション科
佐藤 雄介（さとう ゆうすけ）
理学療法士

地元は、兵庫県篠山市です。大阪府守口市から来ました。岡波総合病院にも、伊賀の町にも早く慣れて、少しでも力になりたいと思っています。

リハビリテーション科
松石 康平（まついし こうへい）
理学療法士

理学療法士として入職しました。患者様にしっかり寄り添える理学療法士になれるよう頑張りたいと思います。

リハビリテーション科
山村 裕里香（やまむら ゆりか）
作業療法士

患者様に安心して頂ける様に知識を身につけ、笑顔で一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

栄養科
大串 奈菜子（おおぐし ななこ）
調理補助

仕事をする上で、「笑顔であいさつ」を大切に、患者さんを一番に考えて頑張ります。よろしくお願いします！

C3病棟
大黒屋 まゆみ（だいこくや）
看護師

豊富な知識と確かな技術を身につけたい。学ぶ楽しさを感じながら、日々努力する。

C3病棟
徳田 晶律（とくだ あかり）
看護師

看護師として入職することができとても嬉しいです。小さい頃から伊賀にはよく来ていたので、思い入れのある伊賀の地域医療に貢献できるよう頑張ります。

C3病棟
山本 紗良（やまもと さら）
看護師

不安でいっぱいですが、看護師として一生懸命頑張ります。ご指導よろしくお願いします。

C4病棟
東 利奈（あずま りな）
看護師

看護師としての責任を持ち、患者さんに寄りそった看護を行っていけるよう、仕事を覚えて安心・安全・安楽な看護を行っていけるよう努力していきたいと思います。

C4病棟
松岡 侑里（まつおか ゆり）
看護師

信頼できる看護師になれるよう、積極的に毎日頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

C5病棟
濱田 敦士（はまだ あつし）
看護師

明るく元気なのが取り柄です。看護師一年目なので、先輩方の教えや、研修などの学びの場面で積極的に行動し自分の力を身につけていきたいです。

C5病棟
山本 直輝（やまもと なおき）
看護師

患者さんに寄り添える誰からも信頼される看護師になりたいです。よろしくお願いします。

C5病棟
井村 大輔（いむら だいすけ）
准看護師

笑顔を忘れず患者さん、医療従事者の皆さんとのコミュニケーションを大事にしたいです。あいさつも積極的にさせていただきますのでよろしくお願いします！！

E3病棟
松原 ゆり（まつばら）
看護師

患者さんの思いに寄り添った看護を提供できるよう日々、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

E4病棟
野﨑 みず恵（のざき みずえ）
看護師

不安を感じている患者さんに優しく接することができる看護師になりたいです。よろしくお願いします。

E4病棟
渡邊 祐里佳（わたなべ ゆりか）
看護師

一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

N2病棟
岩藤 千鶴（いわふじ ちづる）
看護師

ブランクも大きく、迷惑もおかけするかと思います。早く慣れるように努力しますので、よろしくお願いします。

N2病棟
北川 奈知（きたがわ なち）
准看護師

この１年間は、まず病院、病棟に慣れることです。何事にもポジティブで、笑顔でいることが１００％元気につながると思っています。患者様そのご家族にも笑顔になってもらえるよう看護していきます！

N3病棟
寺西 桐子（てらにし きりこ）
看護師

どんな時でも笑顔で明るく接し、話しかけやすい態度がとれるように頑張ります。

N3病棟
前川 のぞみ（まえがわ）
看護師

患者様やご家族様、スタッフの方々にも信頼いただける看護師を目指します！『笑顔』をモットーに頑張ります！よろしくお願いいたします！

手術室
髙森 裕娘（たかもり ひろこ）
ケアワーカー

まず、その場の雰囲気になれ、1日も早く仕事を覚えられるように頑張りたいと思っています。よろしくお願いいたします。

医事課
木高 瑞貴（きだか みずき）
事務員

この度、医事課事務員として働かせて頂くこととなりました。はやく仕事を覚え、完璧にこなせるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

医療福祉相談室
濱 祐輔（はま ゆうすけ）
社会福祉士

コミュニケーションを通じて援助していく中で最後にありがとうと言葉や笑顔をたくさん頂き喜んでもらえるよう早く日常の業務を覚えて、日々指導頂く方の期待と病院の発展に貢献できるように頑張っていきたいです。

老健おかなみ
前川 潤（まえかわ じゅん）
理学療法士

全てに対して全力で取り組み、少しでも多く吸収していきたいです！！宜しくお願い致します。

老健おかなみ
堀 和子（ほり かずこ）
看護師

いつも笑顔で穏やかに接していきたいと思います。よろしくお願いします。

老健おかなみ
北永 麻希（きたなが まき）
介護福祉士

沢山の方を笑顔に出来るように一生懸命頑張ります。

老健おかなみ
垣内 よしこ（かきうち）
ケアワーカー

先輩方から多くのことを学び、ご利用者様に寄り沿ったご支援ができるように努めてまいりたいと思います。

老健第2おかなみ
福岡 もと子（ふくおか もとこ）
看護師

以前病院で勤務させて頂きましたが、新しい気持ちで頑張りたいと思います。

老健第2おかなみ
坂本 恭彦（さかもと やすひこ）
理学療法士

利用者様や患者様のニーズに応えられるように日々勉強に励み、大きな挨拶で１日でも早く名前を覚えて頂けるように頑張っていきます。

老健第2おかなみ
三山 美空（みやま みく）
介護福祉士

人との話を聞くのが好き　好きなことは食べること　よく笑う　みんなを笑顔にすることが好き　何事も一生懸命に取り組んでいく

老健第2おかなみ
野嶋 はるみ（のじま）
ケアワーカー

毎日、笑顔でいられる様に日々、努力していきたいと思います。

老健伊賀ゆめが丘
清滝 夏生（きよたき なつき）
栄養士

おいしいお食事を提供できる一員になるために、日々の業務を安全・衛生面に配慮し、一日でも早く習得できるよう努力します。よろしくお願い致します。

老健伊賀ゆめが丘
森山 なつ美（もりやま なつみ）
介護福祉士

自分の目標である信頼して頂ける介護士になれるよう、これから頑張っていきたいと思います。

当院に「排尿ケアチーム」が発足しました!

看護ケア推進室 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 東雲 洋美

日常生活のなかで、特にトイレのことに関しては、「できる限り人のお世話になりたくない。」と思う部分ではないでしょうか。一日でも早くトイレ動作が自立することで人としての尊厳が守られるだけでなく、転倒や寝たきりになることを予防することにも繋がります。

そこで当院では、尿道カテーテル(尿の管)抜去後に生じた下部尿路機能障害をかかえる患者さまへの援助や生活指導などを行う排尿ケアチームを平成29年4月に発足しました。チームメンバーは藤本(泌尿器科医師)、真鍋(理学療法士)、東雲(看護師)と各病棟の担当ナースです。入院中の患者さまが一日でも早く排尿を自立することができるよう、早期から介入していきます。

下部尿路機能障害とは?

尿が漏れる、尿が出ない、排尿後に膀胱内に尿が100ml以上残る、重度の頻尿(尿回数が15回/日以上)などの症状ある状態

QCサークル大会にて三重県知事賞受賞

回復期リハビリテーション病棟

QCサークル チームリカバリー リーダー 西田 圭子

平成28年12月15日四日市で開かれましたQCサークル大会に病院代表で参加し、この度三重県知事賞をいただきました。今回活動が認められたことに感謝しますと共に、今後もさらに患者様に寄り添った看護や介護を提供していきたいと考えています。

テーマは「夜勤業務を見直そう~多重コールに強くなるために~」です。回復期リハビリテーション病棟は50床で、常に見守りや介助を必要とする方が多いため、ナースコールが多く、リハビリや離床が進むにつれて転倒のリスクが非常に高くなります。夜間はさらに不眠やふらつきがあるため、付き添いが必要になる上に1人で何人ものナースコールに対応しています。そこで、業務改善した結果、少ない人数でも同時に重なるナースコールにも対応でき、転倒のリスクや夜勤スタッフの不安の軽減にもつながりました。

変更した業務を徹底し、誰が業務しても継続できており、スタッフ間でコミュニケーションをとり、予測できることは細心の注意を図りながら、患者様の安心安全を第一に考え対応しています。

リハビリ通信

口の中に現れる煙草の害

~味覚障害~

言語聴覚士 西口江美

煙草を吸うと口腔癌、ニコチン性口内炎、白斑、歯肉のメラニン色素沈着、歯周炎、味覚・嗅覚の異常、毛状舌、口腔内の傷や手術後の治りが遅くなる、歯面の着色、口臭等の症状が現れます。

味覚には甘味、塩辛味、酸味、苦味、うま味の5つの要素があります。味覚は舌や軟口蓋、のどの粘膜にある味蕾で受容されます。口の中には約8000~10000個の味蕾があるといわれます。

味覚障害になると薄い味がわからない、味を全く感じない、何も口に入っていないのに変な味がする、ある味のみわからない、左右いずれかで味を感じない、味の錯覚を起こす等の症状が現れます。

味覚障害が起こる理由として、突発性、薬剤性(降圧剤、抗生剤、抗アレルギー剤、向精神薬、抗がん剤)、亜鉛欠乏症、全身疾患(貧血、消化器疾患、脳血管疾患、糖尿病)、口腔疾患(ドライマウス、舌炎、舌苔)、心因性、加齢が挙げられます。

味を感じる味細胞は常に生まれ変わりが必要で、その際使われるのが「亜鉛」です。煙草を吸うと体内に活性酸素が作られ、それを体外に出すのに多くの亜鉛が使われます。そのため亜鉛が欠乏し、味覚障害が起こるそうです。煙草を吸うと味蕾がニコチンやタールで刺激され、麻痺してしまい「苦味」を感じにくくなります。さらに煙草を吸い続けると舌の周囲が傷つき、舌癌になるリスクも高まります。

味覚障害の予防法は、第一は禁煙ですが亜鉛を補うことが大事です。亜鉛を多く含む食品(牡蠣、牛もも肉、レバー、うなぎ、ナッツ類、チーズ、木綿豆腐、海藻、ゴマ、緑茶、抹茶等)を取り、味覚障害を防ぎましょう。

おかなみ出前講座

社会医療法人畿内会 岡波総合病院
地域医療連携室
Tel:0595-21-3154（直通）
Fax:0595-21-3145（直通）

平成29年4月7日 すこやかクラブ 様

テーマ
飲みこみと ことばのための体操
講師
言語聴覚士 八尋ふみか

平成29年5月11日 いきいきサロン白藤会 様

テーマ
認知症に ならないために
講師
老人看護専門看護師 市川智子

平成29年5月26日 名張もみじ山荘 様

テーマ
糖尿病の薬について ～低血糖と対処法～
講師
看護師 佐小真生

平成29年5月29日 妙楽地イキイキサロン 様

テーマ
高血圧と脳卒中の 関係性～予防と体操～
講師
理学療法士 稲増真利、中平智之

平成29年5月30日 諸木やまぶきサロン 様

テーマ
認知症に ならないために
講師
老人看護専門看護師 市川智子

平成29年5月31日 西条いきいきサロン 様

テーマ
心の健康 ～ストレス マネジメント～
講師
看護学校教員 永住沙樹

平成29年6月6日 丸柱地域まちづくり協議会 様

テーマ
寝たきりに ならないための 基礎知識
講師
作業療法士 山内雅之

平成29年6月8日 倉部区はつらつ教室ＯＢ会 様

テーマ
腰の自宅で できる体操
講師
理学療法士 磯田美鈴、松石康平

平成29年6月9日 諏訪社会福祉会サロン寿の会 様

テーマ
高血圧と脳卒中の 関係性～予防と体操～
講師
理学療法士 尾原ひとみ、杉野貴俊

介護福祉士国家試験合格

今年、1月29日（日）介護福祉士国家試験がありました。
伊賀白鳳高校から就職された3名と各老健で勤務しながら受験した3名が国家試験に合格しました。

おかなみ

林 篠一郎（写真右）
4年前、老健おかなみに入社し、右も左もわからない私でしたが、介護福祉士の資格取得を目標に頑張ってきました。職場の皆さんの応援もあり合格できました。また、一からのつもりで頑張りたいと思います。

松本 美行（写真中央）
介護福祉士として、施設で他職種協働しながらご利用者様に安心して療養できる介護の提供を目標に、より一層精進していきたいと思います。

北永 麻希（写真左）
入社して2か月です。初めは緊張と様々な不安でいっぱいでしたが、先輩の丁寧で優しく教えて下さる姿に緊張や不安が無くなってきました。また、ご利用者様の笑顔や「頑張って」という言葉に元気をもらっています。沢山の方に信頼していただける介護福祉士となれるように頑張っていきます。

伊賀 ゆめが丘

森山 なつ美（写真右）
伊賀ゆめが丘には、学生の実習からお世話になり、実習先で就職が出来てとてもうれしいです。介護福祉士試験にも合格でき職員としてご利用者様とできるだけ関わりを持ち、その人にあった介護ができるように努力していきます。

第２ おかなみ

三山 美空
介護福祉士として働くことは私の夢でした。日々の挨拶等も積極的に行い、ご利用者様の変化に気づけるような自分の思い描く信頼される介護福祉士像を目指したいと思います。

伊藤 富美子（写真左）
実務者研修付介護福祉士講座を名古屋で受け、今回国家試験に合格できました。ご利用者様が笑顔になる介護をしていこうと思います。

薬剤部だより

貼り薬（TTS）＝経皮吸収型製剤について

薬剤部 村上 慎一

貼り薬としてまず思い浮かぶものは？と聞かれれば、痛い所に貼付する冷シップが一番多いでしょう。しかし、貼付薬の中には飲み薬と同じように全身作用を目的とした薬が多くあります。貼り薬には大きく分けて2つあります。1つは、貼った場所にだけ効果を期待する消炎鎮痛薬等で、もう1つは全身作用を期待する狭心症治療薬、喘息・COPD治療薬、禁煙補助薬、ホルモン製剤、麻薬鎮痛薬等です。さらにアルツハイマー型認知症治療薬、パーキンソン病薬、過活動膀胱治療薬、降圧薬といった慢性疾患の多くの分野で開発されてきています。

貼付薬は飲み薬と比べると、血液中の薬の濃度を一定に保てるといった利点があります。服用した薬は、腸から吸収されて血中濃度が高くなり、それから代謝・排泄が行われ効果が小さくなっていきます。最高血中濃度に達する時間では薬が効きすぎるかもしれないし、反対に次の服用時間の直前では、血中濃度が低くなっているため効果が足りていない可能性があります。これが貼付薬では一定速度で薬が放出（体内への吸収）されるので、血中濃度を一定に保つことができます。しかし皮膚への刺激性があったり、指定場所でない皮膚の硬い所では吸収が悪かったり、ピッタリと皮膚に貼れていないと十分な効果が得られないといった注意点や欠点もあります。汗をかく季節・風呂上りは、貼る場所をよく拭いてから貼付して下さい。

薬の投与手段は色々あります。薬剤師に御相談下さい。

褥瘡対策&NST委員会

褥瘡に役立つ豆知識

N3病棟での褥瘡発生予防と治癒促進のための取り組み

褥瘡は予防の段階でケアを始めれば、患者に生じる苦痛や活動制限を防ぐことができ、QOLの向上も図れるということから、N3病棟では予防的観点を重視し褥瘡発生が起こりやすい患者を早期に発見するため「OHスケール」を取り入れました。「OHスケール」とは褥瘡発生危険要因が1.自力体位変換2.骨突出3.浮腫4.関節拘縮の四項目で点数化されたスケールです。高度（7～10点）・中等度（4～6点）・軽度（1～3点）・リスクなし（0点）の四段階に分け、入院時と毎週評価実施を看護師・ケアーワーカーで行いました。中等度以上と褥瘡発生の危険性の高い患者様には、早期からエアマットの使用や2時間ごとの体位変換の実施、骨突出部には保護的なドレッシング材の使用などを取り入れ褥瘡の発生を予防しました。また、毎週OHスケールで評価した点数を電子カルテの観察項目に記入し継続的な推移を観察したり、ピクトグラムではベッドサイドなどで色別でOHスケールの点数提示を実施しました。褥瘡処置に関しては複数人で治癒過程を観察し、週に1度は必ず薬剤師へ評価依頼をするなどチームとして取り組んでいます。

看護師だけでなくケアーワーカーと共に評価を行い、チームとして共通の評価スケールを用い情報を共有することで、褥瘡発生の危険を早期に発見し対応することができるようになりました。今後も、チームとして褥瘡の発生予防に取り組んでいきたいと思います。

社会医療法人 畿内会

岡波看護専門学校

本校は、地域の皆様や職員の方々に支えられ、おかげさまで看護師国家試験に連続して全員合格しています。日頃のご支援に感謝申し上げます。本年度も「人間としての愛」を理念に、人間性豊かな看護師育成を目指すとともに、看護師国家試験全員合格を目指していきますのでどうぞよろしくお願いします。

今年も7月29日（土）に、岡波看護専門学校オープンキャンパスを開催いたします。オープンキャンパスのテーマは、輝く未来という思いを込めて「サンシャイン岡波」です。学生自治会（看護師のたまご会）が中心になり、看護体験や学生との交流会、模擬店などのイベントをたくさん企画しています。ぜひ、みなさんも輝く未来に向かって「楽しい看護のはじまり！」を体験してみてください。また、ガイダンスにて学校説明や受験対策、模擬授業を行っています。軽食も準備しておりますので、友人、保護者の方みなさんお誘いあわせのうえお越しください。

定員は先着70名となっております。現在、パソコンホームページ、スマートフォンサイト、電話、ファックスにて受付を行っておりますので、申し込みはお早めにお願いします。

社会医療法人 畿内会 岡波看護専門学校
〒518－0842
三重県伊賀市上野桑町 1734 番地
TEL&FAX　0595－21－3138
E-mail　oka-ns@ict.ne.jp
URL　http://okanami-kango.ac.jp/